



特集
1

いっしょにやろう

スポーツ少年団



スポーツ少年団は、スポーツ活動を通して青少年の「こころとからだの成長」を図ることを目的とした団体で、指導者と団員たちにより構成されています。現在、村内では、サッカー、バレーボール、野球、柔道、剣道の5種目6単位団が登録され、多くの子どもたちが日々スポーツを楽しんでいます。

今月は、村内のスポーツ少年団の活動の様子と活動に関わる人たちの思いをお届けします。



▲コーチ指導のもと基礎から練習します



▲相手を見ながらスピーディに



▲フィールドを駆け巡り身体能力も向上します

県大会では 優勝を目指します

サッカーする

楽しさを感じながら

今年で創立33年目を迎えるFC昭和は村内各地から集まった50人を超える子どもたちが所属しています。チームの成績は好調で、県大会（ミルクカップ第42回GTV少年サッカー大会）では予選リーグを突破し、決勝トーナメントに進出。一方で小学生が対象の4種リーグでも1位を獲得しています。

そんなFC昭和で、昭和60年のチーム発足時から指導にあたっていた藤井吉治よしかほさんに、活動について話を聞きました。

「子どもたちには、サッカーをする楽しさを感じてもらいながら、ルールを守る大切さや、あいさつなど礼儀も学んでほしいです」。

また、FC昭和は今年度から、よりきめ細やかな指導ができるよう練習時間を分け、低学年で基礎を身につけ、高学年で実践経験を積みレベルアップを図ります。この他にも、子どもたちの自立を促すために保護者会を廃止に。練習

村内の多くの少年団が県大会出場を控えています。ここでは、そのうち、FC昭和と昭和イーグルスの指導者や選手、保護者の想いを聞きました。

や試合で必要な雑務も、子どもたち自らが積極的に動くとともに、遠征試合などは、和南城寿ひびしコーチ自らがバスのハンドルを握ります。保護者の皆さんからは、「入団してから友達が増え、積極的に体力がつき、挨拶できるようになりました」との声も聞かれました。



▶キャプテンの石井聖君

キャプテンを務める、石井聖君ひさひ（東小6年）にチームの様子と今後の目標を聞きました。

「チームの雰囲気は良く、楽しくやれています。試合では、相手を崩しながらパスをつないでシュートを決めたときは嬉しいです。しっかり声を出してチームをまとめ、優勝を目指したいです」。

指導者や保護者に支えられ、サッカーに打ち込む子どもたちと向上心が感じられました。

向上心をもって

野球に取り組む

昭和イーグルスは、南小学校に通う子どもたち、男女合わせて30人が所属し、毎週同小学校校庭で汗を流しています。同団は、県大会での活躍も多く、今月も県大会（JAGグループ群馬杯）に出場する強豪チーム。チームを長年指導している監督の堤輝人（つとむ）さんに、活動について話を聞きました。



▲星野叶翔君、金井陽生君、木村央里君

「まずは、正確な守備から試合のリズムを作れるよう練習に取り組んでいます。バッティング練習では、ボールをバットの芯にしっかり当てることを目標としています。定期的な練習試合も行い、実戦を通じ向上心を持って野球に取り組んでいます。ただ、単純に強さだけを求めるのではなく、きちんと挨拶したり、礼節を持つ心を野球を通して身につけてほしいで

すね。子どもたちには、この先、中学校や高校に行っても、楽しく野球を続けてほしいと思います。また、主力選手としてチームを引っ張るキャプテンの金井陽生君をはじめ、星野叶翔君と木村央里君の6年生メンバーに活動について聞きました。

金井「バッティング練習が好きです。良い当たりが出たときは素直にうれしいです」

星野「やはりノックはきつくて苦手です。ただ、上達していく手応えがあります」

木村「試合でファインプレーをしたときはうれしいです」

三人とも、野球をしている父や兄の影響を受けて入団しているとのこと。言葉や行動からは、野球の楽しさが感じられます。

今後の目標を三人に聞くと、「今月の県大会（JAGグループ群馬杯）で1勝1勝、勝利を重ね優勝を目指したい」と意気込みを語ってくれました。

こうした、子どもたちの活動を支えているのが保護者会です。会を束ねる金井孝行さんは、「子どもたちの成長を間近で見守りながら協力をしています」。

指導者や保護者、そしてプレーする子どもたちの前向きな関係が伝わってきました。



▲ボールをよく見て芯でとらえます



▲グラウンドを広く使って実戦形式で技術を磨きます



▲次の送球も考えながらキャッチ



▲監督がわかりやすく技術指導



昭和イーグルス

スポーツに込める 指導者の想い

体育館には、バレーボールを打ち合う音とともに、常に子どもたち同士励まし合う『かけ声』が響いている昭和スピード。チームは、北毛支部大会で準優勝を飾り、県大会への出場を決めている強豪チームです。このチームを10年にわたり指導している綿貫誠治監督は言います。

「バレーボールは仲間の輪が必要なスポーツです。技術を高めることはもちろん、コミュニケーションを取ることも大切にしています。これによって仲間を思い、足りない部分を補い合える心を育みます。子どもたちには感謝の気持ちを持って楽しく、そしてこの先進学しても、長くバレーボールを続けていってほしいですね」。子どもたちへの言葉からは大きな愛情が感じられました。



昭和スピード
綿貫誠治監督

昭和スピード



▶キャプテンの
青木愛佳さん
(南小6年)



▲アタックには素早くブロック!

試合ではみんなで励まし合って頑張っています。監督にほめられたときはうれしいです。県大会では上位を狙います。

成長途中の子どもたちのスポーツ活動には、適切な指導・助言が重要です。そこで、少年団で長年指導を行ってきたお一人に思いを聞きました。



昭和東少年野球クラブ

いつも楽しみながら練習しています。試合に勝つことが一番うれしく、勝って県大会に行きたいです。



▲片柳碧仁君、鈴木康生君

普段の練習に密着!



▲水分補給



▲グラウンドを広く使ってキャッチボール



▲しっかりウォーミングアップ



▲まずグラウンドの草むしり



▲集中して打撃練習



▲技術に応じてトスバッティングも



▲練習後はグラウンド整備



▲グラウンド、そして野球に感謝の礼

特集 | いっしょにやろうスポーツ少年団

「お願いします」と、剣道場に『礼』をして入ってくる子どもたち。そして、先生方も『礼』とともに続々と道場に入ってきます。昭和剣道を率いる、林勝美代表に話を聞きました。

「武道である剣道で一番大切なことは、礼儀と着装。剣道は『礼に始まり礼に終わる』といわれるほど礼を大切にされる競技です。互いに竹刀を持ち、気合いを入れてぶつかり合うからこそ、そこには相手を思いやり、失礼がないようにする謙虚な気持ちがあります。着装もこうした礼儀の一つで、稽古と袴を正しく着て、道具をしっかりと着けて、姿勢を正して稽古に臨むことが基本です。こうした剣道の考え方は、規則正しい日常生活に必ず生きてきます」。

昭和剣道は、実力抜群の多くの先生方がいて、いねいに指導してくれるのも魅力。稽古では、基本の素振りも真剣に取り組みます。習っている須田里桜さん(東小6年)は「素振りははじめ稽古が楽しい。これからも続けたい」と笑顔。「子どもたちには、病気やケガに気をつけ、休まずに稽古に出てきてほしいですね。そうすることで強くなっていくます」と林代表。その目は、子どもたちの将来をしっかりと見据えています。

昭和剣道



▲基本を大切に、稽古は真剣に



昭和剣道 林勝美代表

昭和柔道



▼(左から)金子廉君、原口登君、徳江郁水君

柔道は楽しいです。がんばって練習して強くなりたいです。



▲トレーニングは柔軟もきっちり

▲お互い声を出しながら準備運動

▲まずはしっかり走り込み

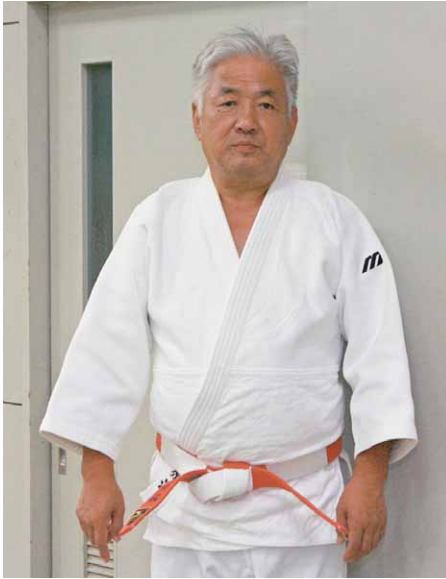
▲道場に入る前に礼

▲稽古開始、まずは乱取りで真剣勝負

▲打ち込みでは受け側の動きも重要

▲先生方、そしてお互いに対し礼

昭和村の素晴らしいところは 村や学校、指導者や保護者が一体となり 子どもたちを守り育てていることです



昭和村スポーツ少年団
本部長 原澤研祐さん

スポーツ少年団 本部長に聞きました

3校ある小学校と1校の中学校がある昭和村において、小学校のうちからスポーツ少年団として広域的に活動することで、異なる小学校の垣根を越えて友達をつくることができます。これにより、昭和中学校に進学しても、壁を感じることなくスムーズに学校生活を始めることができます。その昭和中学校では、近年、様々な部活動で県大会へ出場するなど、めざましい活躍をしています。これは、子どもの数が減少している現在の状況下において素晴らしいことです。もちろん、指導されている学校の先生方のご尽力はもち

村のスポーツ少年団を統括する原澤研祐本部長に、スポーツ少年団活動の役割や意義について聞きました。

ろんのこと、小学生のうちからスポーツ少年団などでスポーツに親しみ、基礎体力を身につけながら競技の土台ができていくことも大きいのではないのでしょうか。

また、昭和村の素晴らしいところとして、村全体で子どもを支えるという意識が高いと感じています。それは、村や学校、指導者や保護者が一体となり、子どもたちを守りながら育てていることですね。スポーツ少年団においては、指導者がボランティアとして一生懸命に子どもたちを支えてくれており、その存在は非常に大きいと思います。

もちろん、スポーツは競技ですから勝ち負けの世界です。しかし、単なる成績主義ではなく、挨拶や礼儀を大切にしたり、親への感謝や相手への思いやりといったことも学んでもらい、スポーツの楽しさを引き出してあげるのがスポーツ少年団の役目であると思います。「好きこそものの上手なれ」、子どもたちにはぜひ好きなスポーツにどんどん打ち込んで成長して行ってほしいです。

スポーツ少年団の“チカラ”

武道に親しむ



柔道や剣道といった武道は、学校の体育で習う機会が少ないので、スポーツ少年団で経験できることは競技の裾野を広げ、また、基礎を身につけるうえでとても貴重です。

親子のきずな育む



最近、親御さんがスポーツ少年団活動に積極的に参加してたりします。このことで、親が子どもの気持ちを分かたり、子どもが親の熱意を肌で感じたり、お互いの「きずな」が深まりそうです。

10年後は群馬国体



2028年の第83回国民体育大会(国体)は群馬県で開催することが内々定めています。今、スポーツ少年団でがんばっている子どもたちが活躍を期待される大会となることでしょう！



スポーツの楽しさや喜びを子どもたちに！

昭和村スポーツ少年団団員募集

現在、5種目6単位団が昭和村スポーツ少年団に登録され、活躍しています。

以下の単位団で団員を募集しています。詳しくはお問合せください。

■問合せ 昭和村教育委員会事務局 ☎24-5120

単位団名称	活動場所・練習時間	対象	問合せ・コメント
サッカー			
F C 昭和	昭和中グラウンド(旧青少年広場) ・年長児～小学校2年生 木曜日 18:00～19:00 ・小学校3年生以上 火・木曜日 19:00～21:00 ※1～3月は多目的屋内運動場	園児(年長) 小学生	活動場所へ お越しく下さい。
バレーボール			
昭和スピード	南小学校体育館 月・水・金曜日 19:00～21:00	小学生	活動場所へ お越しく下さい。 村内外問わず歓迎です。
野球			
昭和イーグルス	南小学校校庭 火・木曜日 16:00～18:30 土・日曜日 8:00～12:00 ※雨天、冬期間は多目的屋内運動場	小学生 (南小)	活動場所へ お越しく下さい。 女子の入団も歓迎です。
昭和東 少年野球クラブ	東小学校校庭 火・木曜日 17:00～19:00 土または日曜日 8:00～12:00 ※雨天、冬期間は多目的屋内運動場	小学生 (東小、大河原小)	活動場所へ お越しく下さい。 女子の入団も歓迎です。
柔道			
昭和柔道	昭和中学校武道場(柔道場) ・園児～小学生 水・金曜日 19:00～20:30 ・中学生 水・金曜日 19:00～21:00	園児 小学生 中学生	活動場所へ お越しく下さい。 男女ともに歓迎です。
剣道			
昭和剣道	昭和中学校武道場(剣道場) 火・土曜日 19:30～21:00	園児 小学生 中学生	活動場所へ お越しく下さい。 男女ともに歓迎です。